

## 高知や社会に貢献し進学にも就職にも強い元気のある商業高校

ビジネスマナーの日常化

基礎学力の定着

市商マネジメント力の育成

学びに向かう力の育成

### よりハイレベルな実践例

- Google Workspaceの各アプリ（Jambord、スライド等）を利用することで協働学習に取り組み、プロジェクト学習を企画・実行する。
- 教科に必要なアプリを導入し、探究学習や自主学習に活用する。
- プロのクリエイターも利用するアプリを学び利用し、プロジェクトマップを作成する。
- VRやドローンの操作・プログラミングの実習を行う。



### 創意工夫と校内連携で「ICTできる！」を拡大中

- ロイロノートとGoogle Workspaceの特徴を理解し、それらを場面に応じて使い分ける。
  - ・ロイロノートの利点  
シンキングツールが充実。動画・音声を組み込める「ノート」を利用して単元の課題を明確にしたり、各自のポートフォリオが作成できる。
  - ・Google Workspaceの利点  
協働作業ができるため、プロジェクト学習で活用できる。アプリ間の汎用性が高く、Excelデータにも変換できる。

### 日常的な端末を利用した基本的な実践例

#### 映像の提示



写真・動画をミラーリングで簡単にスクリーンに投影することができる。また、ロイロノートを活用し、リアルタイムに教員タブレットの画像を共有することができる。

#### 動画の視聴



授業や部活動等で紹介されたインターネット上の動画を視聴し、生徒のレベルに合わせた個別学習が可能。

#### 課題の配信・回収



Classroomやロイロノートを利用して、課題等を教師側から配信したり、生徒が課題や振り返りを提出することができる。

#### 各種連絡・案内



学校からの連絡は、保護者へはすぐーる、生徒・教員はClassroomを利用。紙による配付が不要となり、また緊急に個人所有のモバイル端末に連絡することが可能。保護者からの欠席連絡の受信で、朝の電話対応が減少。

## ベース 高知商業高等学校GIGAスクール構想実現のための環境整備

### 組織的な推進体制の確立

- ・管理職、情報班、事務部、各コース長・教科長等をメンバーとするICT教育推進委員会を設置
- ・長期休業中に情報班主催の学習会を実施

- ・一人一台端末（iPad）とWi-Fiの整備（R5.2月に回線が強化）
- ・各教室にプロジェクター・スクリーン・スピーカー及びApple TVを導入
- ・BYODへの段階的移行（R6年度当初希望62台）令和7年度入学生から全面的にBYODを実施



- ・ロイロノートを学校独自で導入
- ・すぐーるで学校、市教委から保護者への発信が可能
- ・県下導入のGoogle Workspaceを活用。小学校から高校まで同一アカウントを利用し、データの引き継ぎが可能